

教育学部 公立学校教育実習（幼・小・中・高）登録済みの4年次の皆様へ

教育学部長 萩野 敦子

教育実習委員長 浅井 玲子

コロナウィルスの感染拡大によって、学校の休校、休校延長などが続き、皆さんには、教育実習はどうなるかと心配していることと思います。学部での早い対応を求める声もたくさん届いています。

この件への対応は、全国で教員免許を授与している教育機関すべてに関わる問題であり、琉球大学だけの問題ではありません。教育学部としては、全国の教育学部長会議の議題として提案したり、沖縄県の教員養成協議会で取り上げるよう提案したり、また九州の教員養成大学と情報交換するなどして、コロナ感染拡大の影響で学生が不利にならないように、行動しているところです。

現在は、文部科学省の4月3日通知に基づき、「感染症の状況を踏まえつつ、教育委員会や受け入れ校と連携協力し、実施時期、期間、内容等について弾力的な対応を検討しながら実施していく」ための努力をしています。具体的には、皆さんそれぞれの実習校に対して、予定変更も視野に入れた実習実施のお願い文を送付し、4月28日までに回答を求めています。今後は、その結果を皆さんにお知らせし、相談をしながら、皆さんから個別に相手校と実習時期や内容等について再確認していただく予定です。

分かって頂きたいのは、公立学校実習先は、各人が母校（園）や様々なつながりによって内諾を頂いた実習校であるため、県内だけでなく複数の県外に及び、幼・小・中・高と校種も多岐にわたることです。そのため、皆さん一人一人の状況も学校の条件や時期も異なり、個別の対応を余儀なくされます。学部においては、まずは実習時期の迫った実習生の対応から始めざるを得ませんが、結論を焦らずに（学校現場でも、日々刻々と状況が変わるため、すぐに方針を出せないという事情もあります）、お待ちください。

心配事や不安があるときには、所属専修の主任や教育実習委員の先生に、ご遠慮なくお伝えください。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。